

広島サッカースタジアムの開業について

1 要旨・目的

令和6年2月1日に開業する、広島サッカースタジアムの施設概要等について報告する。

2 現状・背景（経緯）

- ・令和3年 3月31日
サッカースタジアムと広場エリア等の整備についてDB事業者を選定【代表者：大成建設】
- ・令和3年 8月31日
広場エリアの賑わい施設整備・運営を担うPPFI事業者を選定【代表者：NTT都市開発】
- ・令和4年 2月 1日 サッカースタジアムの工事着手
- ・令和5年 3月14日 サッカースタジアムの指定管理者を選定【サンフレッチェ広島】
- ・令和5年 8月 1日 広場エリアの工事着手
- ・令和5年12月 28日 スタジアム本体完成、指定管理者へ引渡し

3 施設概要

(1) サッカースタジアム本体の概要

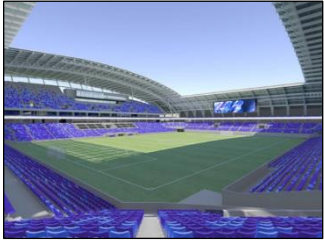
施設規模	敷地面積 49,914 m ² 、建築面積 26,056 m ² 、延床面積 65,878 m ² 地上7階建て、最高高さ 42.6m
観客席	28,520席（車いす席 300席）
駐車場等	駐車場 244台（試合日閉鎖）、バイク 300台、駐輪場 1,499 m ²



(2) スタジアムの特徴

ア 応援しやすく臨場感のあるスタンド

- スタンドからピッチまでが8mで迫力あるプレイを実感



イ 試合の魅力を最大化する非日常的な空間体験

- 延長 380mのリボンビジョンと国内最大級の大型映像装置
- 照明、音響、映像の総合演出による迫力のある多様な演出
- 周回できる移動自由なコンコースと個性あふれる観客席



- 3階メインコンコースに「世界のグルメ」をコンセプトとした多彩な飲食ブースを設置
その他、2階と5階にも飲食ブースを3箇所設置（試合日・イベント時等に営業）

ウ 賑わいをつなぎ何度も行きたくなるスタジアム

- 指定管理者による多機能化施設等の整備

・サッカーミュージアム（HIROSHIMA SOCCER MUSEUM）

広島サッカーの歴史や平和の思いなどを発信するとともに、体を動かしながら楽しめる体験型コンテンツにより、幅広い人々が楽しめるミュージアム



・スタジアムショップ（ピースウイングオフィシャルストア）

サンフレッチェ広島のクラブ公式グッズやスタジアムオリジナルグッズを販売するショップを設置し、広島観光などを含めた、スタジアムを訪れる全ての人々を対象に県産品・お土産品なども販売



・飲食店舗

2階にはフィールドが眺望できるテラスと連携活用可能なレストランを、1階にはカフェ等の飲食店舗を3店舗、令和6年8月の広場エリアを含めたグランドオープンと同時期に設置予定

○非試合日のスタジアムを活用した販わい創出の取組

・スタジアムツアー

新たな観光スポットとして、施設を周遊する基本コースに加え、選手の入団会見や入場などが体験できる「選手なりきりコース」などのスタジアムツアーを運営

・スタジアム施設レンタルプラン

非試合日などにフィールドやスタジアム内の諸室を一般貸出
コンコース、会議室等（1月4日利用申込開始）
フィールド、スタンド（2月2日利用申込開始予定）



4 今後のスケジュール

令和6年1月末 ペDESTリアンデッキ完成
令和6年1月31日 竣工式典【広島市主催】
令和6年2月1日 サッカースタジアム供用開始
(2月1日～5日は寄附者・関係者等の内覧会を実施)
令和6年2月10日～11日 こけら落としイベント

2月10日（土）	《サンフレッチェ広島主催》 オープニングイベント・プレシーズンマッチ（VSガンバ大阪）
2月11日（日）	《広島県サッカー協会主催》 ウォーキングフットボール、スタンプラリーなど、県民・市民等の参加型イベント

令和6年8月 広場エリア供用開始

5 予算（単県）

令和5年度当初予算 257,207千円（令和4年度2月補正予算 153,170千円含む）
令和5年度9月補正 147,000千円

6 今後の対応

「広域からの集客」や「県全体の活性化や中枢拠点性の向上」に繋がる施設となるよう、引き続き、広島市やエリアマネジメント団体等と連携していく。